

脱線防止対策

▶ 脱線防止ガード

車輪がレール上に乗り上がることを防止し、列車の脱線を防ぐ設備を設置しています。



脱線防止ガード

▶ 橋上ガードレール

橋梁上やその付近で万が一列車が脱線した場合に、列車を橋梁下に転落させないための設備を設置しています。



橋上ガードレール

▶ 輪重測定装置

車両側の対策として、車両の車輪にかかる重量（輪重）を測定し、バランスを管理するための装置を京阪線と大津線の車庫に設置しています。



輪重測定装置による管理

線路を遮る障害物の検知

▶ 限界支障検知装置

列車が何らかの原因で隣の線路にはみ出し、線路と線路の間に設置した検知棒に接触した時に、接近する列車を緊急に停止させるための装置で、急曲線などに設置しています。



限界支障検知装置

▶ 土砂崩壊検知装置

線路脇の斜面から土砂などが流入した時に、接近する列車を緊急に停止させる装置を設置しています。



橋本駅～八幡市駅間土砂崩壊検知装置

併用軌道（大津線）

▶ 併用軌道監視装置

浜大津駅付近の併用軌道（一般道路内に設置した線路）区間は、自動車交通の影響を受けやすいため、24時間体制で道路の状況を監視し、より安定的な列車運行に努めています。



併用軌道監視装置

▶ 自動車侵入検知装置

三井寺駅付近の併用軌道と新設軌道（専用敷地内に設置した線路）の境界から自動車が誤って新設軌道に侵入した時、接近する列車を緊急に停止させるための装置を設置しています。あわせて、自動車の進行方向を矢印灯で表示し、ドライバーに注意を促しています。



自動車侵入検知装置



矢印灯

平成27年度 安全重点施策の目標

走行中の列車の安全性向上

平成27年度からの一部使用開始を目指し、京阪線において新型ATSの設置を進めており、これに伴う車両および設備の関連工事を実施します。

また、線路、電気施設においては、分岐器および道床の改良、電車線の自動張力調整装置の新設などを実施します。